

## 平成18年度 第1回安曇野市環境審議会 会議概要

【日 時】 平成18年12月20日(水) 午前10時～12時

【場 所】 穂高総合支所 旧保健センター2階 南会議室

【出席者】 委員16名(全18名中2名欠席)

事務局5名

環境基本計画策定委員会正副会長3名

### 【進行表】

1. 会長あいさつ

2. 議事

(1)環境基本計画の策定経過及び今後の日程について [45分]

(2)生ごみ対策等について [60分]

### 【議 事】

#### 1. 環境基本計画の策定経過及び今後の日程について

事務局より国・県の環境基本計画の概要、県内市町村の環境基本計画策定状況、安曇野市環境基本条例の中での位置づけ、基本計画策定に向けての基本的な考え方、策定委員会設立までの経過を説明。

続いて環境基本計画策定委員会長より第1回委員会から現在までの経過説明、現在はアンケート・基礎調査・分科会等を行っている旨を説明。

事務局より今後のスケジュール説明をし、審議会へは、3月の基本方針、6月の素案、9月の最終案のそれぞれの時点で審議会へ報告していく旨を説明。

続いて質疑応答を行った。(以下、その概要)

Q. 要望ですが、できるだけわかりやすい計画書、安曇野市としてのらしさ・ポイントを出した計画書にしてほしい。

A. (策定委員会副会長) 資料にもあるとおりわかりやすい安曇野らしいものとしていきたい。

この計画は理念に終わることなくいわゆる行動できるものとする。行動するための予算があって、担い手がいる、継続的にできるものとする。

旧3町村のすばらしい計画を活かすことができるような計画としていきたい。

Q. 環境を考えるとやはり「人」が大事。計画の中に「人」というものがどのように位置づけられているか?

A. (策定委員会副会長) 第1分科会は「自然」で、「人」は第2～第4分科会の全てに該当する。

この4つの分科会の後に「教育とコミュニティー」についての検討も計画している。

#### 2. 生ごみ対策等について

事務局よりバイオマスエネルギー地域システム化実験事業の進捗状況について説明(NEDOの委託事業で、現在、焼却している生ごみと紙ごみを原料にこの施設で

メタンガスづくり、それで電気エネルギーに変えていく施設（脱焼却）。穂高広域施設組合敷地内に現在建設中、来年2月から稼動。豊科・穂高地域で6,000戸を対象に分別回収を実施し、実証事業を実施する予定。市民の皆さんにはお手をかけることになるが、協力をお願いします。）

続いて三郷支所生活環境担当より三郷地域生ごみ分別収集モデル事業について説明（可燃ごみの減量化や燃やさないことによる地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>の排出抑制、また堆肥化することにより繰り返し有効活用する循環型社会の構築を目指すことを目的として行う。現在、小規模のモデル事業を実施して、家庭から堆肥センターまでの各作業を実際に行い、生ごみ収集量、異物の混入や臭気の発生状況などのデータを収集等の調査研究を実施している。）

続いて質疑応答を行った。（以下、その概要）

- Q. 三郷地域の水素ガスに変えるバイオマス事業が中止とのマスコミ報道があったが、その件はどうなっているのか？
- A. 三郷のバイオマスは、間伐材やりんごの選定木やトマトのつるをどうするかというところから始まった事業。関係した大手民間会社が手を引いた等のために一時中止ということになっている。
- Q. 環境行政の窓口関係は一本化することはできないのか？
- A. それぞれの部署で環境に取り組むこととなるが、行政としては庁内会議で調整していくことになる。  
公害関係のチェックは環境担当の業務である。
- Q. 環境基本条例はいつからできたのか？
- 基本計画を策定するにあたっては縦割行政ではなく、行政の横の連携をとるための規則等の制定を望む。
- A. 合併時に環境基本条例を作成、条例内容に不都合があれば修正していきたい。
- Q. 環境基本計画が作られ実行されるが、その後の評価・見直しをするシステムにしていくことが大事と思う。
- A. そのようなシステムを策定委員の意見を聞きながら作っていきたい。
- Q. この黄色い袋（NEDO 事業用）では、生ごみは出るが、紙ごみは出ないのではないか？
- A. 資源ごみとして出せる紙ごみは資源として出してもらおうようお願いしている。  
生ごみを出していない家庭は、紙ごみだけでも協力いただくようお願いしている。
- Q. 市として生ごみの堆肥化や三郷の産廃処理施設の問題も含めて、ごみ処理に係る計画・全体像を早く決めてほしい。
- A. 最終処分場の件は、穂高広域で検討委員会を設置し、研究中であり、その検討結果をみてから対応していきたい。  
基本的には自分のところで出たごみは自分のところで処理することが基本である。

（閉会：降旗会長）